

1. 件名：「日本原燃（株）廃棄物埋設施設の保安規定変更認可申請に関する
面談」

2. 日時：令和5年5月18日（木）10時00分～10時35分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

研究炉等審査部門

菅生主任安全審査官、上野管理官補佐、大塚安全審査専門職、大島原子
力規制専門員

日本原燃株式会社

埋設事業部 低レベル放射性廃棄物埋設センター

埋設運営部 埋設業務課長、評価技術課長

東京支社 技術部 運転管理グループリーダー

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. その他

資料 濃縮・埋設事業所廃棄物埋設施設保安規定 今後の変更認可申請予
定について

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	原子力規制庁の大嶋でございます。それでは早速ですけれども、本日です ね、濃縮埋設事業所廃棄物埋設施設保安規定に係る
0:00:16	面談の方を始めさせていただきます。
0:00:20	まず規制庁からの出席者ですけれども、当研究炉等審査部門より、スゴ ウ、運営も、
0:00:28	オオツカオオシマの4名で対応させていただきます。
0:00:33	刀禰さんからも出席者のご紹介いただいてもよろしいですか。はい。日 本原燃からは、埋設事業部の方から、ハマナカとコザワ東京支社から私 トヤリベの出席となります。よろしく願いいたします。
0:00:48	はい、ありがとうございます。それでは早速ですが、資料に基づきまし て、日本業務部の方からご説明の方をお願いいたします。
0:00:56	はい。日本原燃の浜中でございます。資料につきましてご説明いたしま す。タイトルですけれども、埋設の保安規定の今後の変更認可申請予定 についてということでご相談しさせていただきたい件がございまして、 本日面談を
0:01:13	させていただきます。初めには今申したことなので省略させてい ただきますが、2ポツの方から申請予定案件の概要と変更理由をご説明 いたします。
0:01:25	大きくは三つの主要案件がございます。資料では下線を引いてる案件に なります。まず一つ目ですけれども、埋設施設のスケーリングファクタ ーの新規設定ということで、
0:01:39	廃棄物の廃棄体の放射エネルギーを設定するために用いるスケーリング ファクターですけれどもこれを新規設定したいというものでございま す。具体的には、玄海発電所の
0:01:51	2012年から2014年に発生した廃棄体の均質均一高課題ですね、これの セシウムと大勢ALPHAの比率を分析しましたところ従来のスケーリ ングファクターと異なる傾向を示したので、
0:02:06	それについての新規設定を行いたいというものでございます。
0:02:11	2点目になりますけれども、埋設施設の1号埋設設備6群放射エネルギー制限 の見直しということです。
0:02:20	現在、1号埋設施設は、1号、1分から6分に、全部で容量15万 3600。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:28	埋設可能なんですけれども、現時点で 11 万 5067 本ということで、比率にすると 98%ほどを埋設済みです。
0:02:39	一方放射エネルギーに、で見ますと、許可を受けた区画別放射エネルギー、これ 1 分から 6 分の枠に対して放射エネルギーが設定されておりますが、これに対して十分下回っている状況でございます。
0:02:54	そのため保安規定で 10 第 19 条に規定している、1 号の分ごとの埋設放射エネルギー制限を見直して、区画別放射エネルギーの範囲内で、残りの区画に、
0:03:06	割り当てをふやすというような調整を図りたいということで、見直しを考えているものでございます。
0:03:13	3 点目ですが、
0:03:15	埋設施設におけるガラスバッチの導入に伴う変更ということで、
0:03:21	放射性同位元素の規制等の規制に関する法律施行規則の一部改正に伴って外部被ばくの個人線量計の信頼性の確保というのが義務づけられました。
0:03:31	これが今年の 10 月 1 日に施行されるということで、
0:03:36	当社埋設事業部とあと同じ敷地で同様の運用をしている濃縮もそうなんですけれども、ガラスバッチを導入したいと考えておりますこれに対応するために、
0:03:46	該当する保安規定の条文を見直したいということでございます。今の方、三つの主要案件とあと、その他記載の適正化等ございますので、あわせてこれらの
0:03:57	変更の申請をしたいと考えております。
0:04:01	続けて 3 ポツでその申請スケジュールなんですけれども、
0:04:05	主要案件、あるうちのスケールアップファクターと放射エネルギーの見直しこれについては少し技術的な議論が必要かと考えております。
0:04:16	スケールアップファクターについては次年度を対象廃棄体の搬出を予定している。
0:04:21	ものですし、放射エネルギー制限の見直しについても、
0:04:25	次年度にその 6 群に埋めるほ。
0:04:29	今カーボンの放射エネルギーが一番上限に近いところなんですけれども、それが次年度には、受け入れる廃棄体によってはその 6 分の現時点の制限、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:39	の上限に達する見込みということになってますので、次年度の搬出計画を検討するところに向けて年内にその三田を見通し終えたいと考えております。
0:04:50	そういったこともありまして、なるべく余裕を持った時期に申請を行いたいというふうに考えております。
0:04:58	残りのガラスバッチの導入に関しては、規則の施行が10月1日ということでもう決め、決まっておるところですのでその運用、その施行前に運用を解消する必要がございます。
0:05:11	ので、10月1日までに新認可をいただきたい。運用を開始するための期間を含めた認可時期に認可をいただきたいと。
0:05:21	ということで、この案件もですね6月にまとめて申請したいと思っております。ただ
0:05:29	認可を受けたい時期が多少ずれていることから6月に一斉に認可申請はしたいと考えておるんですけども、SFとがスケールリングファクターと放射エネルギーの制限をまとめて1件、それからすバッチについては、
0:05:43	それだけで1件と。
0:05:45	ということで、合計2件に分けて、申請させていただきたいと考えているということでご相談になります。
0:05:53	資料のご説明は以上になります。
0:05:57	規制庁の五島でございます。梅野さんありがとうございました。ただいまの説明に対しまして、規制庁の方から確認点、コメント等ありましたらお願いいたします。
0:06:10	あ、すいません規制庁のスゴウです。
0:06:14	ガラスバッチの
0:06:16	件は多分来週ですかね再処理とか、その他の施設も含めてヒアリングを予定されてると聞いているので、
0:06:27	具体的な内容はそこで聞けばいいかなと思ってるんですけども。
0:06:32	キトウ一方でちょっとは、
0:06:36	ないんですけど、わかんないのが、鳥羽があるのを教えて欲しいけども、RI規則の改正で、個人線量計の信頼性の確保が義務化されましたという点と、
0:06:49	そのガラスバッチを導入しますっていうのが、ちょっと結びつかなかったんそこをちょっと教えてもらっていいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:57	はい。日本原燃浜中です。R I 規則で改正になった内容、この書いてある通り、外部被ばくの個人線量の信頼性確保ということになるんですけども、
0:07:11	具体的にどういうふうにして信頼性を確保するかというところについては、
0:07:18	指定されているわけではないので事業者の方である程度運用をどのようにするかということを考えるんですけども、当社埋設後濃縮としましては、
0:07:29	信頼性を確保するために、日本適合性認定協会の方で、認可を受けた事業者さんからガラスバッジを購入して、その調達して、それを運用したいと考えていますそれをもって信頼性が確保できる状態に
0:07:49	するというにしますので、それを導入することでこの規則の改正に対応すると。
0:07:55	というような考えでおるというところでございます。
0:08:02	規制庁のスゴウです。
0:08:06	その件はあれですかね、何かもう若く埋設だけで、最初糸川変わらないっっちゃうことなんですかね。
0:08:16	はい。日本、日本原燃浜中です。再処理はすでにもうガラスバッジを運用しておりますのでちょっと埋設とは状況が異なると。
0:08:27	ということで、もしくは埋設は今まではP Dと個人線量計電子式の個人線量計を使って使っておりましたので、
0:08:36	それを外部被ばくの
0:08:39	評価用ではなく、非作業管理とかそちらには使うんですけど、この新外部被ばくの評価としてはガラスバッジを新たに導入するというので保安規定を変えたいと。最初にはちょっと事情が違うということでございます。
0:08:56	規制庁はすぐですありがとうございます。具体的に言うとあれですかね今の保安規定に別表 16 ってあって個人線量計でかっこ警報付電子線量計とかあるんですけども、
0:09:11	そこら辺が変わる予定になるんですか。はい。日本原燃浜中でその通りでございます。
0:09:19	別表 16 の今の記載で、先ほどお話がありました個人線量計カッコ警報器、警報付電子線量計これを削除する形にしたいと思っております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:33	はい、規制庁そうだ。イメージはわかりました。実際審査する時にこのR I 規則で外部委託。
0:09:47	何かジャブとか取ってるようなところで委託してっていうのは他の事業者さんもやってて、
0:09:55	その他にちゃんと
0:09:58	調達管理っていう観点から下部規定とかでどうやって規定する予定なのかとかっていうことも、一応見ますので、
0:10:08	そこはちょっといいことをもう1を見ますと、ご準備いただければと思います。はい。
0:10:16	日本原燃浜中で承知いたしました。
0:10:20	はい。
0:10:21	規制庁のスゴウ伊勢等はそうですねで、
0:10:28	そこはお前アートでいいや、それから、
0:10:34	一つ目、ノース競輪ファクターの件は以前から、
0:10:40	今聞いてはいるんですけども、
0:10:42	これが限界があれですね今の既存S A F から10倍を超えるような値っていうふうに聞いてるんですけど、そこら辺、その原因とかって何かわかってたりするんですか。
0:11:00	はい。日本原燃浜中です。詳細は審査の時にご説明させていただければと思うんですけども、一応
0:11:10	九州さんと情報共有をしながら検討を進めて参りまして、10倍を超過した原因としては
0:11:19	大元になったきっかけは軽微な燃料破損は、2010年頃にあったであろうという、あったということで、それに起因して、炉水中に、
0:11:31	全 α が放出されたとで、ただ、量としてはそんなに多くないんですけども、ここ廃棄体をつくる固形化の過程で、
0:11:41	今、遠心分離のようなちょっと作業が入るんですけどもそうしたことで、 α が一部濃縮されたような廃棄体ができ上がってしまい、それを
0:11:53	代表、大下は、代表は1体ということで分析すると10倍を超過したと、そういうふうな理屈であると考えております。
0:12:04	規制庁のスゴウです。
0:12:06	ありがとうございます。今の点、ちょっと大塚さん、何かコメントっていうか、確認したい点あります。規制庁の大塚でございます。衛藤。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:17	詳細については審査の中でということなので、細かい話は、審査の中で、ご説明を聞いた上でと思っていますけれども、
0:12:28	今浜中さん軽微な燃料損傷がというふうに九州全土が主張しているということなんですが、
0:12:35	全部スケージングファクターで比較的安定していて、比それなり低めだと思っはいるんですけども、軽微な燃料損傷の場合、通常ヨウ素とかそちらが主に出てきますよね。
0:12:49	で、全 α が結構がつつりと壊れないと、炉水中に放出されない核種だという理解をしまして、
0:12:57	ちょっと
0:12:59	ベストからいったら要素がまず出てきて、セシウムが出てきてそこから全 α だと思っているので、ちょっとその軽微な燃料損傷であると。
0:13:10	首長と全部を超えたってのはちょっとピンと繋がらなかったなっていうのは、今お話を聞いた感触です。なのでちょっとその審査の中で、
0:13:19	やはり原因がきちんと特定されていなくて値だけ変えてもですね、またそのすぐに超過して、設定変更設定変更を繰り返すことになりますので、ちょっとその説明については九州電力さんの方ともよく調整していただいて、
0:13:36	いただければと思っています。松葉さん私からは以上です。はい。
0:13:43	はい。
0:13:46	等は規制庁のスゴウですけども、今、
0:13:50	今実際の審査の時に確認を、
0:13:53	しますんで、その点ちょっと説明してもらえばいいかなと思いますんでよろしくをお願いします。
0:14:02	それから二つ目に、
0:14:06	1号、6分、
0:14:13	えっと放射能量制限の見直しなんですけど、ちょっと。うん。うん。うん。
0:14:20	うんの所に上限に達する見込みってなってるんですけども、これってあれですか、急激に何かカーボンフォーティーン。
0:14:31	カラーなんか不増えてる廃棄体で増えてるっていうなんかそういうことなんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:39	日本原燃の戸澤でございます。廃棄体の放射エネルギー、量、一般あたり放射能につきましては、やはりその廃棄物量の減容化が進んでるっていうことで、
0:14:54	年々放射エネルギーはちょっと高めになってる傾向が出てるんじゃないかなというふうには考えてございます。
0:15:01	そういう意味で、
0:15:03	1号から5分までに埋設は終了してはいますが、後半になるにつれて、カーボンの方の量は半分徐々に
0:15:13	増えてる傾向にはなってございます。
0:15:18	そう。うん。規制庁のスゴウです。
0:15:20	す。それで今発電所にある、
0:15:26	均質均一均質固化体を入れようって思うと、
0:15:33	その6分のカーボンフォーティーンの応答農業制限の6分の1っていうのが、
0:15:44	これは何かもう、
0:15:46	どうしてもと出してしまいそうな状況っていうことなんですかね。
0:15:52	それとも、今までの
0:16:00	結構薄いものを入れてたんで、江藤なんていうんですよ、強い施設を。
0:16:07	もったいないというか、そういう観点で、こういうものを入れたいっていう話なのか、ちょっと大分違うなと思ってんですけど、その点はどっちになるんですかね。
0:16:21	日本原燃野澤でございます。6番、
0:16:26	につきましては上限に達する見込みっていうのは今想定される廃棄体。
0:16:32	今後埋設のを予定をしている廃棄体の
0:16:36	保証の量を見ますと、やはり上限に立つ。
0:16:41	そうだとこのところがわかっているということで、資料のほうに記載させていただきます。
0:16:46	2点目のご質問はちょっと趣旨がわからなかったんですが、
0:16:54	あ、規制庁そうですねいよいよですねと。
0:16:58	何回区画別放射エネルギーという観点で見ればまだ余裕はあるから、こういうものを入れたいんだっていう話なのか。
0:17:08	それとも普通にその関係なく入れてたら、どうしても6分の1を超えちゃいそうだっていう、その

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:19	どっちなんですかねっていうことをちょっと聞いたんですけどはい。今日本原燃の甲田でございます。今、現時点では、
0:17:30	今後、埋設を予定している廃棄体の性状、それから、
0:17:36	を考えるともう超えてしまう、未見込みだということです。そこで、
0:17:43	高いものだけを集中して埋設するというのではなくて今ある、
0:17:48	埋設できそうな廃棄体を、
0:17:50	考えると、
0:17:51	それを仮に6群に埋設するというふうに仮定をすると超えてしまうということ。
0:17:56	それで見込みだし、見込みであるということです。
0:18:01	規制庁の十河です。どう、仕方ないんだっていう話であれば、今しようがないかなと思いつつ、その部分の一位の縛り
0:18:17	芸客勘の転換にも書いてたんですけど、
0:18:22	これってー。
0:18:23	なんかは0からやれって言ったわけでもなくて、多分原燃さんの方で、
0:18:31	みずから縛りをかけたのかなあと思っ
0:18:35	てて、これ許可したのは2年前ですし、それに基づいて保安規定変更したのも2年弱前とかになるんですけども、
0:18:46	何か今の話で、どう、今のまま入れようと思うと、6分の1超えちゃいそうなんですなんていうのは、
0:18:56	何か2年前にはもうわかりそうな話でもあるんですけども、
0:19:03	何でしょう、6分の1を超えない、一応ちょっと極端な偏りないっていう前提で多分被ばく線量評価とかもやってたような気がするんですが、
0:19:19	そういう点から、何かこの検定っていうふうに整理をされようとしてますか。日本原燃の戸澤でございますまず1点目。
0:19:34	当間当時、審査の時、
0:19:37	いいですけども、そのときは、
0:19:42	発電所の稼働状況ということでBWRの発電所から発生する廃棄体はカーボンの放射エネルギーが比較的小さいんですけども、その
0:19:53	PWR発電所が稼働すればですね、放射能の小さい以下を廃棄体が発生するということでそういったことを考えると、超過することなく、
0:20:04	埋設できるのではないかとということで、特に3号の審査の時には、超えるというような予想はしてなかったということです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:16	そういう意味で今なかなかBWRの再稼働が進んでないということもあって、比較的放射エネルギーの高い廃棄体が発生しているということ。
0:20:28	あと評価の点ですけれども、
0:20:32	御説明進さんのご説明にあったように、1から6分については、
0:20:37	評価では平均的に埋設されるということで評価をしております。ですので今回はこの運用を変更するというところで、
0:20:48	6限に放射エネルギーが少し多く、埋設したときに、評価への影響がどうなるのかと言ってしまうようなところを、審査の中でご説明して、
0:21:01	線量評価の影響がないということをご説明して、
0:21:04	変更を認めていただきたいというふうには考えてございます。
0:21:13	今、規制庁はすごいうん。
0:21:17	影響がないってことをそうですね、説明してもらえればいいかなとは思ってるんですけど、若干前提条件が、
0:21:28	崩れるなんていうところと、許可の添付資料とはいえ、自分たちで宣言して、
0:21:41	あと何か、
0:21:43	はい。はっきり言ってあんまりこの変更許可してから2年ぐらいで、
0:21:49	そんなに状況変わってない気がするんですけど、みずから約束したのも反故にするんですかっていうのは、
0:21:59	印象としてあんまりよくないんですけど、そこは
0:22:05	しっかり説明してもらえればいいかなというふうには思いますのでそこは実際の審査になった時にいますんで、
0:22:13	準備いただければいいかなと思います。この度、大塚さんから何か止めたいです。
0:22:23	最後規制庁の大塚でございます。衛藤。
0:22:26	細かい話は審査の中ということなので、ちょっと今ご説明聞いた中で1点だけ。
0:22:31	とはいえ、その凶減容化が進んでいるので、カーボンが高いものだっていうのは、御説明だったと思うんですけども、減容化が進んでいるのが理由であるならば、カーボンだけではなくて他の核種も、
0:22:45	同じ数字になってくるんじゃないかと思うんですけども、カーボンだけが今回問題になってるんじゃない特段理由があるんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:55	日本原燃の戸澤でございます。カードにつきましては一部PWRの廃棄体についてのリスクファクターをちょっと志賀に見直したというところも一つ要因になっているのではないかというふうには、
0:23:10	思います。
0:23:12	スケジュール、
0:23:15	昔の廃棄物確認運用要領に書いてある値から設定変更してないと理解をしてるんですけども、
0:23:24	衛藤スケールの数字を見直して家屋についてちょっと見直したというふうには聞いてますちょっと確認はさせていただきますが、はい。
0:23:38	そういうことなんですね。
0:23:50	どちらが主たる要因はそのスケールファクター見直し。
0:23:53	カーボンのあれがあったと思うんですね。ただその場合もですねさっきと同じ話になるんですけども、処理方法を変える、その減容化すれば、当然そのカーブが上がるでしょうけれども他のその揮発しない核種も上がってしかるべきだと思うんですけど、
0:24:10	そっち側全部カーボンだけだったら駄目なんす。
0:24:15	日本原燃の講座でございます全体的に他の核種も当然、財産の量は上がっておりますがこれまでと比べますと、上がって当然上がっております。ただ先ほど、
0:24:26	大塚さんがおっしゃったように株に関してカーボンが、
0:24:32	制限に近くなっているというのは、
0:24:36	先ほど言ったSFの見直しの一つの要因になってるというふうには思ってますし、あと、
0:24:42	BWR自体はカーボン合い政府で設定してなくて、
0:24:46	須藤金ですので、
0:24:51	それはあまり関係ないかもしれないですけどそういったカーボンだけはちょっと他の核種とちょっと評価の仕方が違うというところも、
0:24:58	影響しているかもしれませんが少しその辺りはちょっとまだ十分、中身は、
0:25:05	吟味できた検討できてませんけれども、
0:25:08	はい。規制庁の高でございます。それはちょっとまた細かい話はまだ審査の中で、お聞きしたいと思うんですけども、気になったらですねやはりなぜか分だけなのか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:20	今、期間本日のご説明を聞いた中で、ちょっとおやと思ったのが廃棄体の処理方法、減容化が進んだということであれば、やっぱりその他の揮発しないクラッド系のやつがもっと上がってもいいはず。
0:25:35	だということと、
0:25:37	あと
0:25:39	萩田磯野、衛藤何といいますか、ちょっと均質均一化の中でも何木幡伊井を作ってるのかってのはあれなんですけども、
0:25:50	従前例えばセメント型にしてたのを、ペレットを課題にするとか、そういう方向性は桁で変わってくる話だと思うんですけども、そうでなければ攻め、そこまで攻撃的にそのスケールファクター変わる。
0:26:04	そこまでもないと思ってるんですね。ちょっと以前は逆に方法のいろんなその技術的な検討しないかん。そそのデータとか見ると、そう思っているんで、
0:26:14	そうですねなぜカーボンだけなのかっていう話とその絵とカーボンが上がったという、
0:26:22	原因ですね、それが特定できてるのかっていうのはちょっと気になりました。先ほど全αの時も申しあげましたけれども、
0:26:29	全体的にそのカーボンフォーティーンの数そのものが上昇傾向になるのであれば、
0:26:37	やはり何が原因なのかというのが特定されてないとまた今回設定変更しても、また近いうちに動いてしまうということになりかねないと思ってるので、ちょっとその辺は審査の中でご説明いただければと思っています。以上です。
0:26:53	日本原燃の香西でございます。承知いたしました。
0:27:00	あ、すいません規制庁のスゴウです。それで、今日は審査スケジュールの相談ってことなんですけれども、
0:27:12	1 ポツ目として、スケジュールっていうよりもこの申請の仕方でS Fの話と、今の放射エネルギー制限の話と、
0:27:23	一緒にして申請されを出してますけど、
0:27:28	何か、
0:27:30	今、多分次年度排出系架空人どっちとも影響するからだとは思いつつ、
0:27:41	なんか発起一緒にいいですかっていうだけなんですけど、何か別々の方が、
0:27:47	いいような気もするんですが、これは一緒の方がいいんですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:53	日本原燃の浜中です。今のお話でいくと例えば、スケーリングファクターと放射エネルギー制限も分けて、例えば3件で、
0:28:05	申請してはどうかという、それは事業者としてどうなのかというそういうご意見という、
0:28:13	受けとめでやってますでしょうか。規制庁のスゴウです。
0:28:18	もしかしたらですよ。S f 脳どっちかの放射エネルギー制限返す風化で審査が引っ張られてどっちも認可できない。
0:28:29	ていう事態になり得るようなことも考えられるかなと思ってて、その時に一緒でも構わないですかというだけなんですけど。
0:28:40	はい。日本原燃浜中です。案件はなるべく
0:28:46	まとめた方がよろしいかと思い、今この2件にしたんですけれども、おっしゃる通り、スケーリングファクターと放射エネルギー制限それぞれちょっと課題課題というか議論の
0:28:58	本店が違うところであるということになりますので、
0:29:02	片づいた方から順次認可をいただけるのであれば、その方が、事業者としてもありがたいと考えておりますので、3件に分けての申請もちょっと視野に入れたいと思います。
0:29:18	規制庁の喪失で、そのときになんですけれども、
0:29:29	同時申請でスルーであればその他の申請に影響がないっていうことは、
0:29:38	ちょっと説明して欲しいんですが多分ないんだろうなと思いつつ、
0:29:47	何か本当に同時じゃないとできないのかっていうところがちょっとわかんなくて、
0:29:52	例えば
0:29:56	ガラスバッジの導入の件って、そんなに申請からルール化までに時間かからないような気がしててこれは
0:30:06	そんなに論点がないと思ってるんで、なので
0:30:13	もう本当に、
0:30:14	なんでしょう受重要性とかいう先導をちょっと考えて、順次申請してもらえた方が我々としてはありがたいんですけれども、
0:30:26	どうしても当時じゃないと駄目っていうような、
0:30:30	ものなんででしょうか。
0:30:33	はい。日本原燃の浜中です。同時でなければならぬということではございません。ちょっと
0:30:42	この認可をいただきたい時期があるあるということと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:47	議論にどのくらい時間がかかるかというのはちょっとこちらとしても予測が難しいところがありましたので、準備が整ったものはなるべく早めに申請をしたいので、
0:30:59	3件が準備が整うのがほぼ同時だったということもあって、同時申請なんですけど、
0:31:05	ガラスバッチはあまりそんなそれほどの議論に長引く、可能性が少ないということであれば、これは先にちょっと申請させていただいて、補次のすぐ持ってくるよ。
0:31:20	ということも考えられるのですけれども、その点も含めてちょっと紙スクリーニングファクターと放射エネルギーは電力さんにも影響する話ですので、
0:31:31	今まず3件に分けるだとかあと時期について、順次という形にするだとかっていうところは、電力さんとも相談させていただきたいので、
0:31:42	今のご意見も踏まえてちょっと考えさせてください。また
0:31:47	電力さんと調整した結果についてはお伝えいたします。
0:31:52	すいません規制庁がすごいそうですねあの引っ込みちょっとSF当方車の量制限は、
0:32:00	何か
0:32:03	そうですね。
0:32:05	ちょっと色合いが違いすぎる気もしてて、分けた方がいいんじゃないかなとは思ってるんですけども。
0:32:16	その時、
0:32:20	何でしょう。優先度として、こっちの方が、
0:32:26	来年度の排出計画の、
0:32:28	その検討するにあたっては効いてくるとかあるような気がするんで、もうちょっとこう優先度も、
0:32:35	考えてですね、申請をいただければなと思いますんで、電力さんとも相談をいただければと思います。はい。よろしくお願いします。
0:32:48	日本原燃ハマナカで承知いたしました。
0:32:54	と規制庁はそうですね、他に
0:32:59	私からは以上なんですけれどももし他ありましたら、お願いします。
0:33:13	きちんとオオシマです。こちらが特に追加で質問した意見等はないです。
0:33:21	大井。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:22	じゃあ、規制庁もそうです。じゃあ、大嶋さん、締めてクローズしてもらってよろしいですかね。規制庁の大嶋でございます。
0:33:33	そうしましたらちょっとこれで今年度の方、終わらせていただきたいと思えますけれども、
0:33:39	スペックを記載した点を踏まえてですね、ちょっと申請の時期等、再検討いただいて修正の方、お願いしたいなと思えますので、そういった形で進めていただければと思います。
0:33:52	最後に日本原燃さんの方から何か確認しておきたいこと等ありますか。
0:33:59	日本原燃浜中です。特にございません。はい。伊勢嶋です。はい、ありがとうございます。そうしましたら本日のメンバーはこれで終了させていただきます。どうもありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。